

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	3-2-3		事業名	厚別副都心地区のバリアフリー化
担当	都市局市街地整備部再開発課 田口 211-2706			
全体計画				
事業内容	<p>当該事業は、「誰にでも分かりやすく、使いやすい歩行者優先のまちづくり」をコンセプトに進めてきた「厚別副都心地区まちづくり事業」のうち、札幌市バリアフリー基本構想の中で重点整備地区として位置付けられ、整備が急がれるバリアフリー関連施設等の整備を行うものである。地下鉄・バス・JR相互の乗継動線のバリアフリー化、バスターミナル待合室の改修を行うことで、障がいのある人だけでなく、誰もが活動しやすく移動しやすいまちを目指している。</p>		<年度別の事業内容>	
			<p>平成19年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー関連施設基本設計</li> <li>・案内標示検討業務</li> </ul> <p>平成20年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー関連施設実施設計</li> <li>・2階公共通路改修工事</li> <li>・エレベーター改修(バスターミナル南レーン)</li> </ul> <p>平成21年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター新設(バスターミナル北レーン)</li> <li>・エレベーター新設(地下鉄8番出入口棟)</li> <li>・案内標示改修</li> </ul> <p>平成22年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター新設(地下鉄8番出入口棟)</li> </ul>	
事業内容・量・場所	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー関連施設基本設計</li> <li>・エレベーター2基新設、バスターミナル防寒対策</li> <li>・案内標示検討業務</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階公共通路改修工事</li> <li>・バリアフリー化関連施設実施設計</li> <li>・エレベーター2基新設、バスターミナル防寒対策</li> <li>・新札幌バスターミナル南レーンエレベーター改修工事</li> </ul>	
規模・件数等	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新札幌バスターミナル待合室改善工事(防寒対策)</li> <li>・新札幌バスターミナル北レーンエレベーター1基新設工事</li> <li>・案内標示改修実施設計</li> <li>・誘導ブロック設置工事</li> </ul>			

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	3-2-3		事業名	厚別副都心地区のバリアフリー化		
達成目標の状況						
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
乗継動線のバリアフリー化	-	基本設計	実施設計 改修等工事	実施設計 改修等工事	完了	完了
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
<p>市民との連携、市民参加 乗継動線のバリアフリー化に向け、厚別区主催の「まちづくり協議会」、札幌市障害者福祉協会、視覚障害者福祉協会の意見を反映させた整備を進めている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] ㈱札幌副都心開発公社所有施設に誘導ブロック設置(間接補助) 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 地元商店街に対して説明会を開催し、バリアフリー化整備に向けた工事説明や意見交換を行っている。</p>						
評価(成果)			課題			
平成22年度の事業完了に向け、バリアフリー関連施設の実施設計を行った。また、2階公共通路スロープをバリアフリー対応に改修した。			バリアフリー化整備に伴い、公共交通機関の乗り継ぎ動線を明確にするため、平成21年度に案内標示改修実施設計を行い、実施に向け関係機関と調整をする必要がある。			
今後の事業の予定・方向						
札幌市交通バリアフリー基本構想において、「都心地区」、「麻生地区」と並んで重点整備地区として、整備目標年次が平成22年度と設定されている。今後はこの目標年次である平成22年度までの整備完了を目指し、市民、関係機関との調整を図りながら事業を進めていく予定である。						

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		3-2-3			事業名	厚別副都心地区のバリアフリー化				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	22,000	125,000	403,000	200,000	750,000				
	財源内訳	国・道支出金	8,800	50,000	161,200	80,000	300,000			
		市の債		50,800	169,200	83,000	303,000			
		その他の					0			
	一般財源	13,200	24,200	72,600	37,000	147,000				
予算	事業費	22,000	132,000	365,300	-	519,300				
	財源内訳	国・道支出金	8,800	52,800	146,120		207,720			
		市の債	0	53,000	0		53,000			
		その他の	0	0	0		0			
	一般財源	13,200	26,200	219,180		258,580				
実績	事業費	17,200	113,057	-	-	130,257				
	財源内訳	国・道支出金	6,880	67,100			73,980			
		市の債	0	0			0			
		その他の	0	0			0			
	一般財源	10,320	45,957			56,277				
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					66.1%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
(全体)										
[19年度] 基本設計業務委託入札による差金が発生したため決算事業費が減となった										
[20年度] 厚別副都心2階公共通路改修工事の入札差金が発生したため決算事業費が減となった。										
[21年度] エレベーター新設(地下鉄8番出入口)工事を、2ヵ年(H21・22)で完了する計画だったが、関係機関との協議により、平成22年単年度工事となったため予算事業費が減となった。										